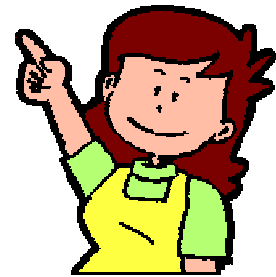


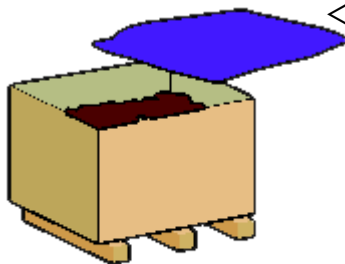
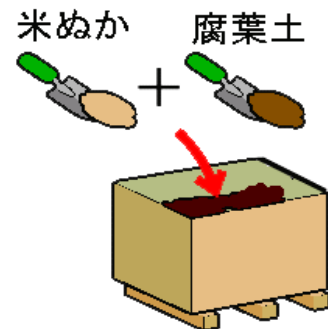
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)

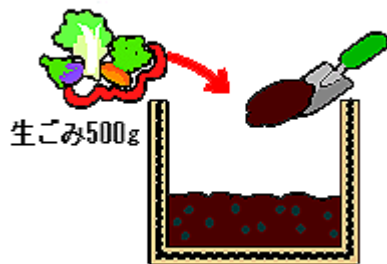


<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg



虫が入らないように、ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

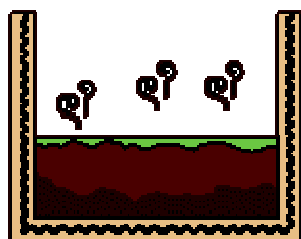
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

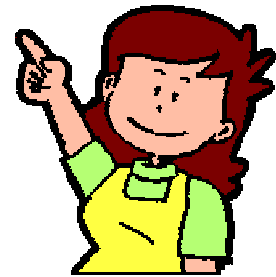
基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。



飯山くらしの会

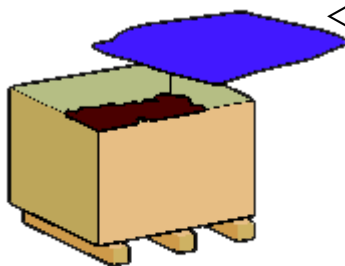
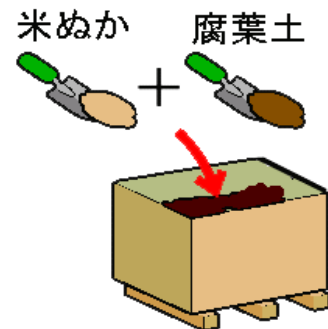
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

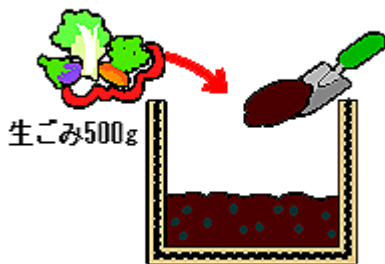
- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)



<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg

虫が入らないように、
ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

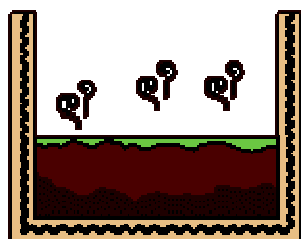
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

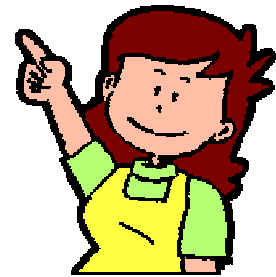
基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。



飯山くらしの会

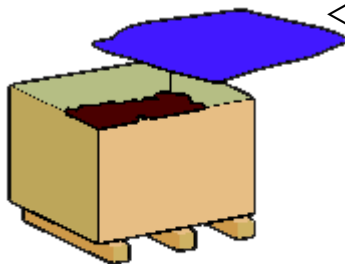
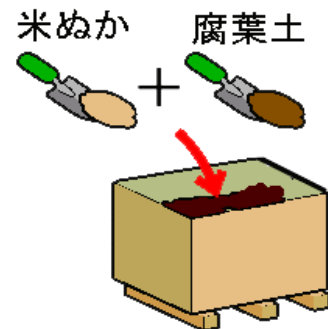
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)

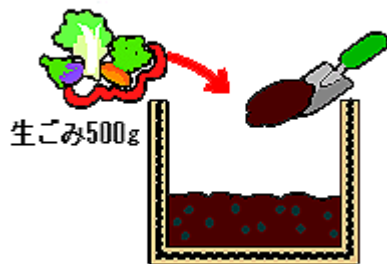


<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg



虫が入らないように、ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

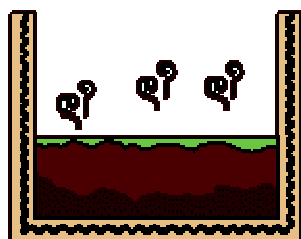
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

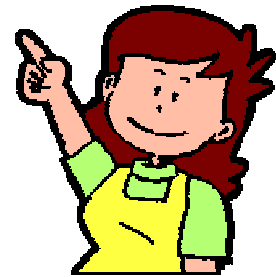
基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。



飯山くらしの会

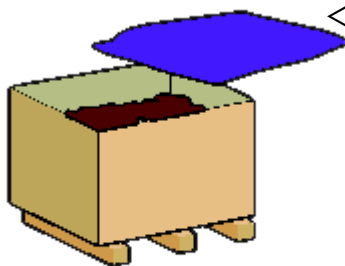
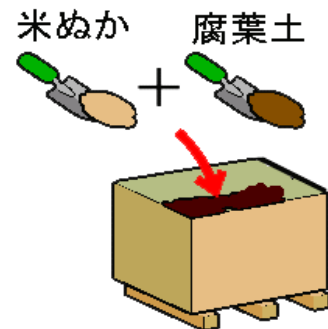
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)

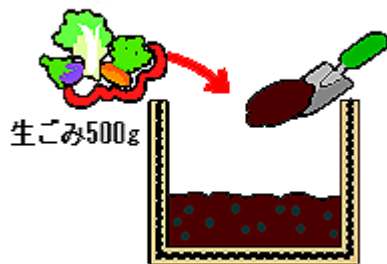


<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg



虫が入らないように、ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

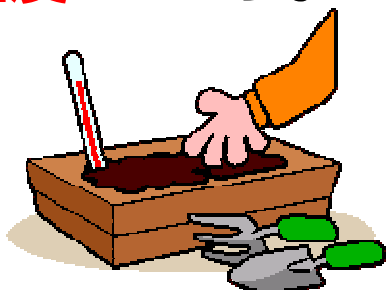
- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

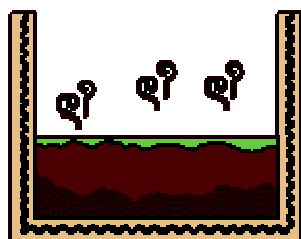
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。

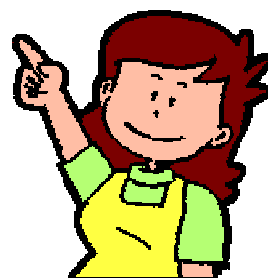


やってみたら
結構カンタン♪

飯山くらしの会

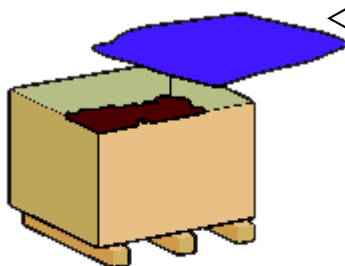
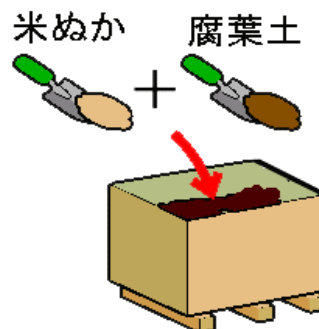
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)

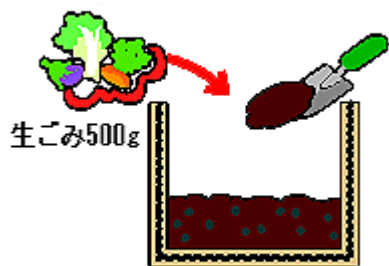


<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg



虫が入らないように、ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

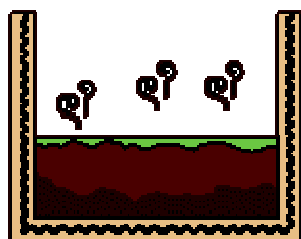
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

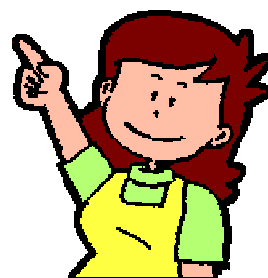
基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。



飯山くらしの会

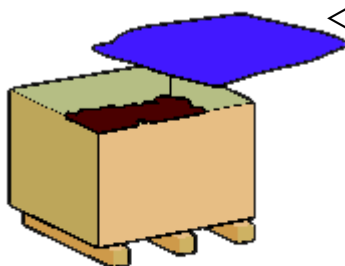
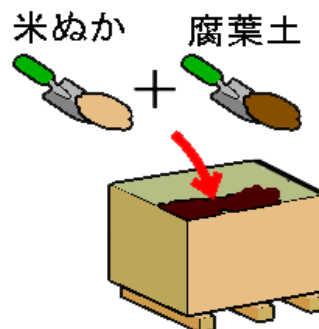
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)

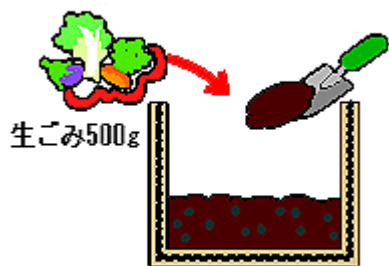


<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg



虫が入らないように、ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

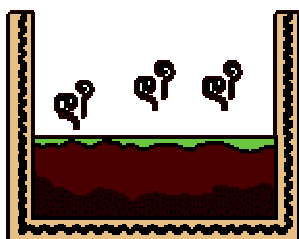
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。

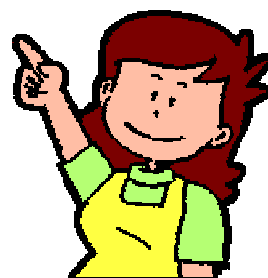


やってみたら
結構カンタン♪

飯山くらしの会

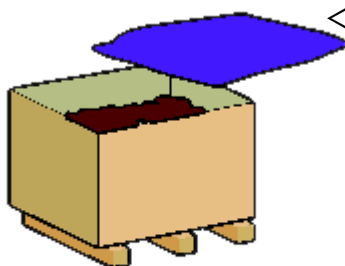
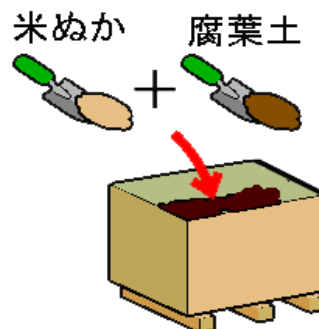
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)

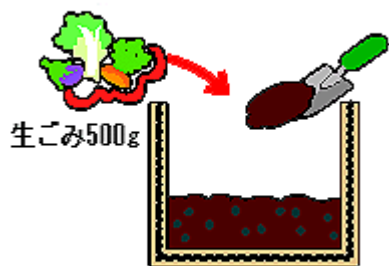


<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg



虫が入らないように、
ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

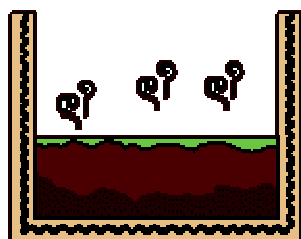
なんで？ どうして？

温度が上がらない



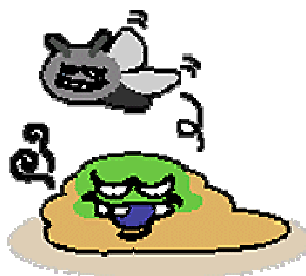
最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。

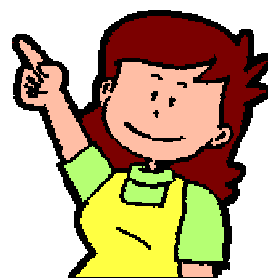


やってみたら
結構カンタン♪

飯山くらしの会

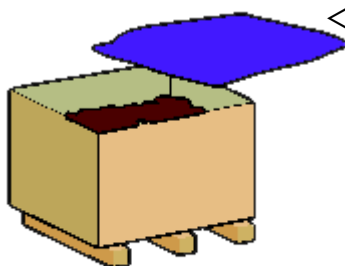
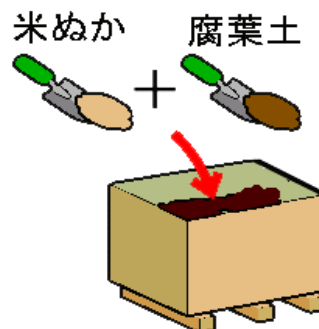
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)

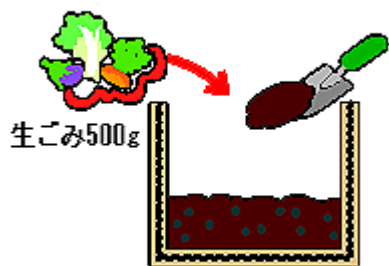


<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg



虫が入らないように、ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

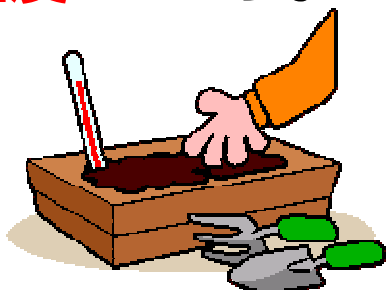
- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

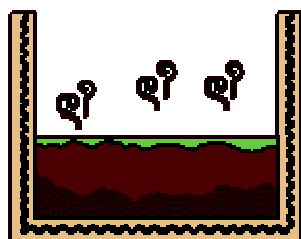
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

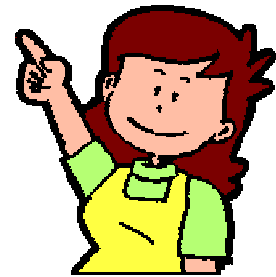
基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。



飯山くらしの会

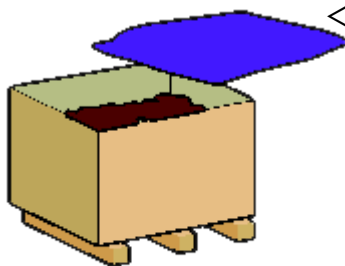
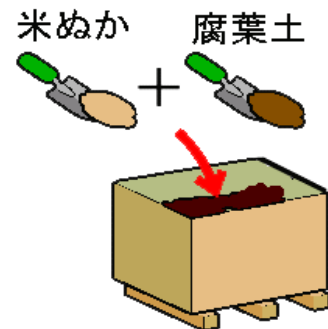
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

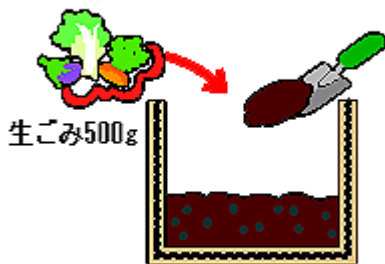
- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)



<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg

虫が入らないように、
ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

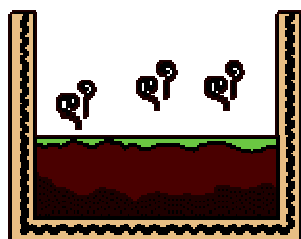
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出てしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。

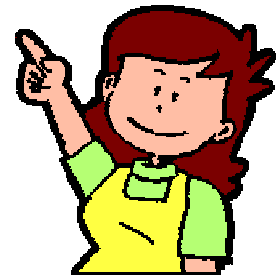


やってみたら
結構カンタン♪

飯山くらしの会

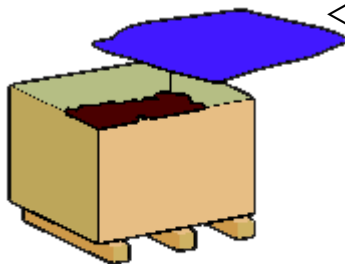
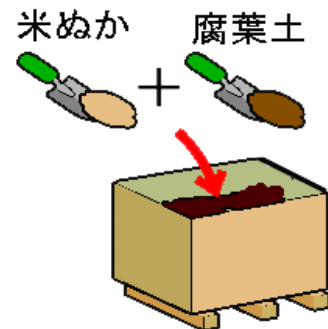
ダンボール式!

ダンボールで生ごみが堆肥に変身!!



① はじめに

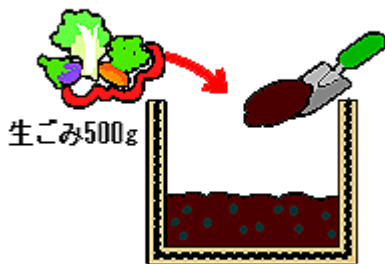
- ・ダンボール箱の底と側面に新聞紙2日分位入れます。
- ・通気性を良くするため、箱を床面から5cm位浮かせます。
- ・腐葉土5と米ぬか3を混ぜたものを箱の深さ半分位まで入れます。(床)
(ピートモス6 : くん炭4の方法もあります)



<腐葉土5 : 米ぬか3の割合例>

腐葉土	:	米ぬか
5kg	:	3kg
2.5kg	:	1.5kg
3kg	:	1.8kg

虫が入らないように、
ふろしきをかぶせよう。



② 生ごみの入れ方

- ・生ごみ(小さく切ると良い)と米ぬか一握りをバケツなどに入れて混ぜてから上記の床に入れ軽く混ぜます。
- ・最初は1kgくらい
- ・一日の投入量の目安は500g~1kg程度

③ お手入れ

- ・生ごみを入れるたびに、シャベルなどで全体をかき混ぜ、空気を入れます。
- ・温度は40度位が適温ですが、温度が上がらない場合は、米ぬかを少量入れて下さい。
- ・乾燥している場合は水を少し足して下さい。
- ・夏より冬が初心者の好機です。



割り箸などの木や肉の骨、貝殻などは分解しにくいので入れないで下さい。

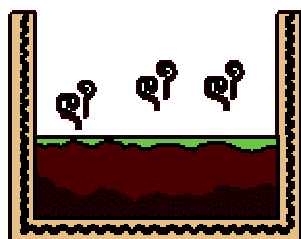
なんで？ どうして？

温度が上がらない



最初の1～2週間は、微生物の働きが弱く温度は上がりません。野菜だけだと温度は上がりませんが、ゆっくり分解されていきます。温度を上げるには米ぬかを入れて下さい。

臭いが出ってしまった



一度に大量の生ごみや魚のあらを入れると、湿った土の臭いやカビ臭がします。乾いた腐葉土を入れて、良くかき混ぜましょう。風通しの良い所にしばらく置いて、臭いがおさまったら元の場所に戻しましょう。

カビや虫が発生



表面に白カビが生える事がありますが無害です。かき混ぜれば問題ありません。生ごみは新しいうちに入れましょう。小バエなど発生したら、使用済み天ぷら油など入れて温度を高くすると虫は死んでしまいます。

何日もかき混ぜないと、カビや虫が発生しやすくなります。気を付けましょう。

基材は3ヶ月くらいもちますがべたついてきたら終了です。終了した基材はビニール袋に入れて1ヶ月くらい寝かせてから堆肥として利用しましょう。



飯山くらしの会